

発見かんざま

— 北から南から —

櫛田宮

(所在地 神崎市神埼町三丁目)

市役所南、長崎街道が南から東に折れる正面に毅然として立つ社。古代から中世、近世そして現代まで、人々の崇敬を受けている櫛田宮。古(いにしえ)より神埼は肥沃な農地と、有明海に注ぐ城原川、田手川の海上交通を利用し、中国、朝鮮との交易で賑わう豊かな地域でした。商業と農業生産力が飛躍的に発展した江戸時代、往時の人々の財力と文化の高さを物語るのが櫛田宮の能楽堂、今その伝統が千代田町はんぎ一ホールの能舞台に息づいています。



櫛田宮能楽堂



千代田町はんぎ一ホール能舞台

市民の声

このたび、佐賀県の支援と市当局指導により神埼町旧長崎街道沿い(旧郵便局跡)にCSO(社会市民組織)支援拠点「神幸(かみさち)館」がオープンしました。

この施設は「つなごう地域・つなげよう気持」をキーワードとして、私どもの神埼で昔から育まれた文化やそれに伴う活動の継承などに取組む場所です。世代を問わず、志を同じくする様々な組織(グループ)の連携とレベルアップを促し、私達の地域が活力あるものへ導く事を目的としました。

いつのころからか、支え合う人的文化が薄れ、地域組織が弱体化しましたが、かけがえのないものの更生は私達にとって責務であると考えますし、それが次世代の子育てをはじめとする豊かな暮らしへと繋がると信じます。

本来の自治(自ら治める)活動の機能低下は残念ながら進行しております。新しい動きとして「協働化推進」が進められています。今回の拠点設置は目新しい物ではなく、特別なものでもありません。市民のみならずが足元を見つめ直すきっかけとして、お気軽に活用下さい。よろしく願います。

CSOかんざま
代表 最所 巖

編集後記

『議会だより』を通して、議会の様子や各委員会での議員活動などが、市民の皆さんに伝わっているのか、これまで編集にたずさわりながら心配しています。

『議会だより』について、市民の皆さんの感想もお聞かせ下さい。

本年度も、編集作業の中で多くのことを学ぶとともに、議会活動がわかり易い『議会だより』の編集にとがんばります。

〈白石、記〉

	広報委員会	
	委員長	福田 清道
	副委員長	角田 晴義
委員	白石 昌利	
〃	田原 和幸	
〃	古賀 安行	